



札幌管区気象台 150年の歩み



札幌管区気象台の様々な業務の昔と今①

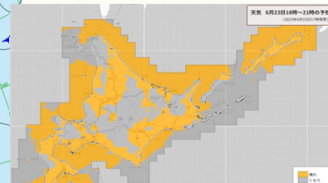
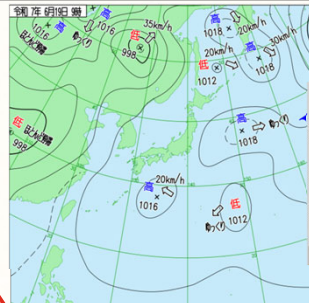
昔

今

天気図と天気予報



「全国一般風ノ向
キハ定リナシ
天気ハ変リ易し但
シ雨天勝ち」

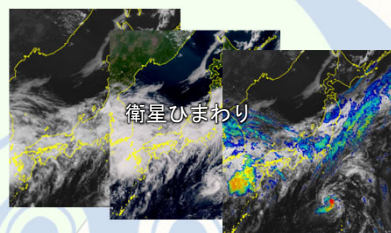
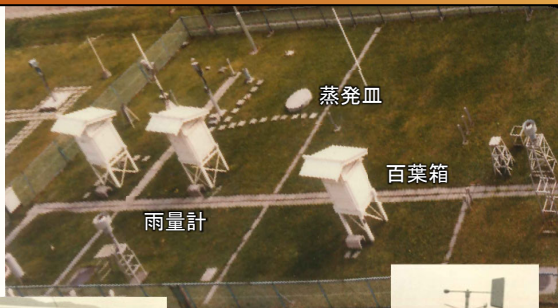


日付	今日 19日(木)	明日 20日(金)	明後日 21日(土)
天気	晴れ 夜 くもり 石狩北部 では 霧	晴れ 朝晩 くもり 石狩北部 では 曇り 夜 雨	曇り 雨 一時 晴
風	北西の風 夜 南東の風	東風の風 夜 南の風 海上 では 後 南東の風 やや強く	南の風
速	1メートル	1メートル	1.5メートル 夜 2.5メートル
降水確率(%)	00-05 06-12 12-18 18-24	00-05 06-12 12-18 18-24	00-05 06-12 12-18 18-24
気温(℃)	札幌 朝の最低 日中の最高	札幌 朝の最低 日中の最高	札幌 朝の最低 日中の最高
	25 28	19 27	

全国の気象台からデータを集め、1883年に天気図の作成が開始されました。天気予報は掲示板や予報旗を通じて、全国を対象に発表していました。

世界各国の気象データや船舶・航空機などからデータを集め、詳細な天気図を作成しています。天気予報はホームページやテレビなど各種メディアを通じて地域ごとに発表しています。

気象観測



1876年9月1日から百葉箱や風向風速計などを用いた目視による観測が始まりました。

現在は風向風速計などの地上気象観測だけでなく高層気象観測、レーダー観測、衛星観測など様々な方法で観測しています。